

第8回タクティール®ケア I コース終了



平成25年度認知症緩和ケア研修セミナー第8回タクティール®ケア I コースが、3月24・25日、洞爺湖畔にある地域密着型特養財田の杜において開催されました。参加された方お二人は、介護現場で機能訓練を担当されている看護師さんということで、常に個別に関わりを持たれているお立場。たまにはレクリエーションもしますよとのことでしたが基本的にはお一人おひとりにあった訓練計画を実践され、触れることで痛みも含めた回復を願い生活のサポート役の中心になっているといっても過言ではありません。常に介護現場の中にいらっしゃるお立場で、触れることの大切さを肌で感じられており（まさに肌と肌とのコミュニケーションを実践中！（笑））、今回はタクティールケアの良さを事前に調べ、職場に受講を申し出たところ、職場の上司（管理者）からの理解とおすすめもあり受講に至りました。

職場のお仲間には、すでにタクティールケアを受講された方がいらっしゃるということでしたが機能訓練とタクティールケアを組み合わせ、生活意欲の向上を期待し、暮らしの中の心配事や不安など、多くの方の穏やかな暮らしのためのチームケアに期待が持たれます。

触れることは何よりも気持ち伝わりやすくなります。介護や看護は触れるということを経験し、成り立ちません。良い関係性を築くためにもコミュニケーションは重要で、それは良いコミュニケーションから生まれます。その方の為だけに使うことの出来る時間を共有する、改めてタクティールケアの時間がもたらす効果を確認する2日間となりました。

「始めは覚えられないか少し不安でしたが、繰り返し実践することで覚えることができました。」「早速家族にも実践してみます。次回フォローアップの時には、アロマの匂いの効果も試してみます（アロマセラピーの資格有り）」などなどお話をいただきました。

今後の皆様のお仕事のお役に立ち、或いはスキルの一助になれば幸いです。受講されたみなさん、実習頑張ってくださいね。応援しています。

今後は、フォローアップセミナーも随時開催して参りますので、講座受講いただきました皆様、それまでの間、実習に取り組んでいただき、是非認定試験を目標にしてください。

ありがとうございました。

【研修内容】

- 第1日目 タクティールケア理論
背中のタクティールケア
手のタクティールケア
- 第2日目 足のタクティールケア
三種（背中・手・足）のタクティールケアの復習
認知症緩和ケア理念紹介
質疑応答・ディスカッション



修了証書を手記念撮影（高齢者77研修センター財田の杜）

2014年度のタクティールケア事業計画は、右記HPをご覧ください

社会福祉法人幸清会HP <http://www.koseikai-wel.or.jp/>
JSCI 日本スウェーデン福祉研究所HP <http://www.jsci.jp/>

第8回タクティールケア I コース担当講師
シルヴィアホーム認定インストラクター
鈴木卓也

（所属：東京 日本スウェーデン福祉研究所）

受講風景（第8回）



足のタクティールケア



手のタクティールケア



背中のタクティールケア